

施策評価調査【令和 7 年度実施事業】

| | | | |
|-------|---------------------------|------|--------|
| 政策名 | 7 地域が輝くまちの創生 | 関係課名 | 米水津振興局 |
| 施策名 | 8 人口増へ！米水津からの情報発信 ～米水津地域～ | | |
| 総合計画頁 | P112～113 | | |

【1-1 主な取組】

| | ア | イ | ウ | エ |
|------|-----------------|--------|--------------------|------------|
| 主な取組 | 安心して暮らせる定住の場を確保 | 労働力の確保 | 第二浦代トンネルの整備要望活動の推進 | 米水津からの情報発信 |

【1-2 主な取組の実施状況】

| 主な取組 | R 7 年度に実施した具体的な取組内容と成果 | R 8 年度に実施予定の具体的な取組内容 |
|------|--|---|
| ア | <p>(ア) 空き家等への市外からの転入者は9世帯（実績）</p> <p>(イ) 地域の高齢者や外国人技能実習生の利便性向上に向けた日曜運行及びデマンド運行の実施には至っていない。</p> <p>(ウ) 地域創生支援事業の活用により、各地区の安心・安全のために9箇所の環境整備（樹木伐採・河川水路等の土砂撤去）を行った。</p> <p>令和6年12月から買い物へ行くことに不便さを感じる高齢者世帯等へ見守り（健康状態の確認）と買い物支援サービスを行う「米水津御用聞事業」を小売店の存在しない小浦地区と竹野浦地区で開始した。また、令和7年度から浦代浦地区と色利浦地区も追加し対象地域の拡大を行った。令和7年4月～令和8年3月までのサービス利用件数は848件（平均70件/月）である。</p> <p>(エ) 現在、旧色宮小学校のグラウンドは、(株)小川香料が搾汁工場の建設を予定している。校舎の一部は、色利浦地区自主防災会が備蓄食料品を格納しており有効活用を図っている。</p> | <input checked="" type="checkbox"/> 1 R 7 年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入 |
| イ | <p>(ア) 「米水津御用聞事業」を開始したことで他の業務依頼も増え、有償ボランティアグループの活動の幅が拡充した。地域の雇用を担う「米水津水産加工協同組合」に対し、干物七輪焼き教室、米水津中学校への活動協力、米水津国際交流会の会等の活動を生かしたパンフレット作りの支援に着手した。対外発信に寄与することを目的としている。</p> <p>(イ) 外国人技能実習生については、「米水津国際交流会」が中心となり、日本語教室を通して支援を行っている。また、宿舎のある3地区（浦代浦・色利浦・宮野浦）の盆踊りに外国人技能実習生も参加し、地域住民との交流が深まった。色利浦地区では個人主催の親月祭が行われ、外国人技能実習生が歌や踊りを披露して地域住民との交流を深めた。</p> <p>(ウ) 9月27日～28日に実施された米水津地域コミュニティ協議会主催の「防災キャンプ」では、米水津国際交流会の会外国人技能実習生を含めた住民約100名が参加し、防災について楽しく学び、世代間交流・異文化交流を図ることができた。</p> <p>(エ) 各地区区長に対し地域内行事や自主防災会での避難訓練において、外国人技能実習生への参画を促している。</p> | <input checked="" type="checkbox"/> 1 R 7 年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入 |
| ウ | <p>(ア) (イ) (ウ) 第二浦代トンネルは、平成29年度に事業着手され、令和5年度は浦代浦側の補強土壁・浦代川付替え工事、令和7年度は前年に引き続き浦代川付替え工事が行われている。第二浦代トンネル建設促進期成会により、要望活動の実施、広報物の配布等で住民へ進捗状況を周知した。また、トンネル掘削残土置場候補地（浦代浦2カ所）は地元区長により地権者に協力を求め、大分県佐伯土木事務所が測量を実施した。</p> <p>(令和7年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月3日 木立地区等訪問 ・7月1日 事業進捗チラシ全戸配布（米水津地域） ・1月19日 大分県土木建築部長要望 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 R 7 年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入 |
| エ | <p>(ア) 空の展望所の芝桜は、Instagramを用いて開花情報等を発信した。（フォロワー数：R4/2,172 R5/2,926 R6/3,376 R7/4,485）</p> <p>(イ) 地域おこし協力隊員は、地域住民へ陶芸ワークショップや教室を展開し、地域文化拡充に貢献している。地区集会施設や公衆トイレに陶板レリーフを用いた装飾を行う予定としている。</p> <p>(ウ) 空き家バンクへの登録を推進し、暮らしナビHPを利用し、空き家の情報提供を行っている。令和元年度、令和3～4年度に空き家調査を実施。今年度新たに発生した空き家調査を各地区の協力を得て実施している。（実施期間は来年度の10月までとしている。）</p> <p>(エ) (オ) SNS等、メディアを活用し下記イベントを通じ、特産品の販売拡大を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米水津おさかなまつり（10月26日） ・空カフェ（3月中旬～5月上旬） ・サンライズウォーク（1月1日） ・米水津春の海鮮フェア（米水津管内4店舗で実施） | <input checked="" type="checkbox"/> 1 R 7 年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入 |

【1-3 主な取組（R7年度実施）による評価】

| 評価 | | 評価理由 | 平均評価 |
|----|---|--|------|
| ア | B | 空き家を購入し米水津地区に居住する方、高齢者単身世帯に他市から子どもが転入し同居するといった傾向が見られている。空き家バンク登録家屋を売買により購入して今年度転入して来た世帯は3世帯あった。コミュニティバスの日曜運行・デマンド運行の実施には至っていない。 | A |
| イ | A | 外国人技能実習生の研修を「米水津国際交流の会」が実施している。地区主催の盆踊りや個人主催の親月祭に参加するなど地域住民と積極的に触れ合うことが出来ている。また、コミュニティ協議会主催の防災キャンプ等で地域住民との交流が図られている。 | |
| ウ | A | 第二浦代トンネル整備は、平成29年度に事業着手され、滞りなく計画どおりに進捗している。令和7年度は、大分県佐伯土木事務所が掘削残土置場候補地の測量を行っており、着々とトンネル掘削へ向けて前進している。 | |
| エ | A | 米水津振興局職員により空の展望所の海側の支障木を撤去し、眺望確保を図っている。併せて、空の公園の遊歩道は観光客が安全に散策できるように沿道沿いの支障木の伐採を行った。芝桜の開花に合わせて空カフェ・米水津春の海鮮フェアを実施したことで米水津の魅力（味力）を対外的に発信することができた。地域おこし協力隊員による、集会施設や公衆トイレへの装飾を行うことでの景観向上へ向けた取組を開始した。 | |

【2-1 目標指標】

| 目標内容 | 基準値・年度 | 実績値【R7年度】 | 目標値（令和7年度） | 目標値（令和9年度） |
|-------------------------|----------|--------------------|------------|------------|
| (1) 米水津管内移住世帯数（市外からの移住） | 5世帯／年 R4 | 25世帯（累計）【R7年度：9世帯】 | 20世帯（累計） | 30世帯（累計） |

【2-2 目標指標による評価】

| 評価 | | 評価理由 | 平均評価 |
|-----|---|--|------|
| (1) | A | 空き家バンクによる空き家購入者による今年度の転入世帯数は3世帯となっている。それ以外にも、帰省による定住転入者も含め大幅に増加した。今後も空き家調査等を積極的に進め、地域内の状況把握に努め、移住希望者に対し情報提供を行っていく。 | A |

【3-1 重点プロジェクト】 ※各振興局所管の地域活性化分野のみ

| 重点プロジェクト名 | |
|-----------|---------------|
| ① | 米水津人口増加プロジェクト |

【3-2 重点プロジェクトの具体的な実施状況評価】 ※各振興局所管の地域活性化分野のみ

| | R7年度に実施した具体的な取組内容と成果 | R8年度に実施予定の具体的な取組内容 |
|---|---|---|
| ① | <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度から地域内の有償ボランティアグループによる高齢者の買い物支援及び見守りを行う「米水津御用聞事業」を開始した。現在4地区で実施。月平均で70件の利用実績であった。令和7年度に対象地区となった色利浦では実績がありません。民間事業者による移動販売車が地域に参入していることも要員の一つではないかと見ております。このサービス自体が高齢者の見守りという部分も含んでおり将来的に有償ボランティアグループが単独で事業運営が行えるように今後も支援継続を行っていく。 米水津おさかなまつりは米水津の魅力や特産品を広く発信し、市内外の人々との交流を深めることで地域の価値を再認識してもらうことを目的に実施。祭りの規模自体は縮小方向へあるものの幅広い年齢層が来場しにぎわいました。 令和7年度から来年度へかけて空き家調査を実施。各地区区長様へも協力を求め、新たに生じた空き家等の調査を行っています。 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 R7年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入 |

【3-3 重点プロジェクト（R7年度実施）による評価】

| 評価 | | 評価理由 | 平均評価 |
|----|---|--|------|
| ① | A | 令和7年度実績値は25世帯で目標値の20世帯より5世帯多く順調に推移している。今後も地域内の状況把握に努め、移住希望者に「米水津地域」を選択してもらえるよう取り組んでいく。 | A |

【4 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 課題と今後の施策展開について |
|------|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> 13社で構成する米水津水産加工協同組合が地域雇用の一役を担っているが、その中でも外国人技能実習生は約100名近くが労働力不足を補っている状況である。加工組合の取組も、米水津国際交流の会と連携した技能実習生受入及び地域との共生、市内学校への干物普及活動、地元中学校との産業教育と多くの振興に携わっている。このような活動資源を生かした水産加工業の対外発信支援を進めていく。 「米水津御用聞事業」では、有償ボランティア団体に「元気な高齢者」の幅広い人材の活用により、助け合いにより地域で支えあう事業展開ができる取組を推進していく。 空の展望所においては、芝桜の防草シートを用いた圃場環境整備を進めている。今後は、芝桜やアジサイの剪定除草管理を業務委託する方向で調整している。ボランティアを募集しての除草作業など、地域住民の連携も大事にして管理のスマート化を目指していく。 空き家調査については、各地区と連携した取組を実施することにより、空き家所有者・管理者へ行政・区長様が連絡を取れるよう、お互いが情報の共有ができる形で進めていく。今後の老朽危険家屋対策としても、常日頃から所有者の方々との区の方で連絡を密にできる体制を整えていく。 高齢世帯や単身独居高齢者（特に子どもがいない方）等に対して、青年後見人制度活用の啓発や終活（永代供養・墓じまい・財産）に関して、相談等の後押し・間口を広める取組を行う。 |